

「国際 VHF 無線の諸規制の緩和」に関する意見収集

JSAF 通信委員会はヨット始め多くのプレジャーボートの航行安全を確保するため、他船舶との直接交信を行うための手段として国際的な共通インフラである国際 VHF の普及活動を目指します。そのため、普及の阻害要因となっている以下の諸規制の緩和を求めています。

- ・誰でもが簡単に取得できる無線従事者資格
- ・自ら行うことができる簡便な無線局免許申請
- ・安価な輸入機器が使える技術基準適合証明の緩和 など

こうした活動に対し、メンバーおよびメンバー外の方々からのご意見を求めます。

ご意見記入欄

レース運営側からのコメント

外洋東海通信委員長 菱田

大会の運営にあたり、国際 V H F の使い勝手で電波法に抵触しないために

本部艇とモーターボート・漁船等の各々が V H F 非搭載のケース
免許を得た小型ハンディー機があれば、相互間で交信可能
海岸局「チタヨット」の交信不能又は機器のトラブル発生時への対応
2007 の五ヶ所湾合同レースで、海岸局の送信トラブルが発生
免許を得た小型ハンディー機があれば、送受信のどちらに原因があるか判定可能
マリン V H F との通信の互換性なし（許可チャンネル）

このケースを基に、J S A F 所属海岸局への加入・登録規程を変更すれば規制緩和への手口があるものか、第一花丸さんの H P 記事などを一読し、東海総合通信局航空海上課の担当窓口へ、「ご指導くださいと」電話照会した結果（H20.5.初旬）

そもそも、国際 V H F は船舶に対するもので、ハンディー機は対象外である。
別の無線通信手段での対応をされたい。

との回答であり、次のステップへ進む考えができなかった。
しかし、レース運営側としては、国際 V H F が規制緩和されて広く多くの者に使うチャンスがあれば、普及にもつながり、是非この機会を生かして頂きたい

ご意見送り先

FAX の場合 03-3481-0414 JSAF 事務局

e-mail の場合 head@jsaf.or.jp 同上

ご意見の公表を望む場合

<http://www.geocities.jp/tiarashore/menu.htm> 「国際 VHF 開放を！」ヨット連絡会